

総合政策学部のおゆみ 資料編 (年表)

年代	体制の歴史	学部行事など	授業・学生活動	社会の動き
1995 9 5 1 9 9 8 学部開設から完成年度まで	1995 4月1日 総合政策学部(総合政策学科)開設。入学生396名、専任教員29名、教務補佐3名。学部長:天野明弘教授	5月13日 総合政策学部開設記念式典。於 神戸三田キャンパス体育館、神戸三田キャンパス開設記念講演会 In Our Nature「地球と人との新しい関係」C. W. ニコル氏。	6月17日 教職員・学生親睦ソフトボール大会13チーム(12ゼミ・教職員)200名が参加。	1月17日 阪神・淡路大震災発生。 3月20日 地下鉄サリン事件。 WTO発足。 11月 Windows95日本語版発売。
		10月30日 総合政策学部開設記念講演会「新しい地球社会における日本の役割」モーリス・ストロング氏(オンタリオ・ハイドロ社会長)		
	1996 10月14日 クラブハウス完成記念式典・神戸三田キャンパス就職資料室オープン。	3月1日 総合政策研究(Journal of Policy Studies)創刊号(総合政策学部開設記念号)を発行。 6月28日 学部主催シンポジウム「これからの「国際人」になるために」 11月7日 学部主催講演会「今、何故ボランティアか」中田武仁氏(国連ボランティア名誉大使)。 11月7日 企業対象総合政策学部説明会 於 神戸三田キャンパス 製造業を中心に27社31名の企業人事担当者の訪問があった。就職用PRパンフレットを学部として作成。	4月1日 SA(Student Assistant)、CSI(Computer Student Instructor)委嘱式。SAは新入生対象キャンパスツアー、他大学政策情報系学部学生交流会、キャンパス見学会、企業対象総合政策学部説明会などの学部主催行事を学生サイドから支援。CSIは、コンピュータ演習の授業支援、メディアフォーラムにおけるコンピュータ利用支援、総合政策学部ホームページの学生担当部分の制作などに活躍。 10月 住居問題に国際的なNGO、Habitat for Humanity Internationalが初のキャンパス・チャプター(学生支部)として神戸三田キャンパスに“Eco-Habitat 関西学院”を設立。	病原性大腸菌O-157による集団食中毒発生。
		1997 2月19日 第1回総合政策学部優秀論文賞(小島賞)授賞式。 夏 総合政策学部、全学に先駆けてインターンシップ制度(オフキャンパス実習)を導入。理論と実践の統合をはかる。受け入れ先企業22社、参加学生67名(3年生)。 8月3～15日 国連研修ツアー。米国ニューヨーク市・国際連合本部。統括ディレクター:田島幹雄教授、引率:久保田哲夫教授。総合政策学部学生17名、他学部生3名が参加。	6月 三田市の旧市街地に「ほんまちラボ」を開設。 11月14日 企業懇談会。於 神戸三田キャンパス SAが企画・運営にあたり、122社、154人の企業人事関係者が参加。	香港返還(7月)。 消費税5%に引き上げ。 神戸連続児童殺傷事件。 臓器移植法施行。 「京都議定書」採択(12月)。 介護保険法公布。
	1998 6月 文部省に大学院総合政策研究科修士課程の設置申請。 6月16日・7月6日 文部省実地調査。開設より現在に至るまでの履行状況報告を行う。	6月27日・28日 「公共選択学会第2回研究全国大会」が神戸三田キャンパスで開催。貝原俊民知事が特別講演。	12月9日 リサーチフェア98開催。口頭発表、ポスターセッション、ホームページの3形式で53組191人の学生が報告。また本学部の4年間を総括し、これからのあり方を考えるシンポジウムも開催。来場者約700名。	長野オリンピック開催。 「温暖化対策推進法」制定。 NPO法施行。
1999 3月24日 1期生卒業式。SAの呼びかけにより午後2時から宝塚ホテルにおいて「卒業記念パーティー」が行われた。参加者は教職員を含め約350名。				